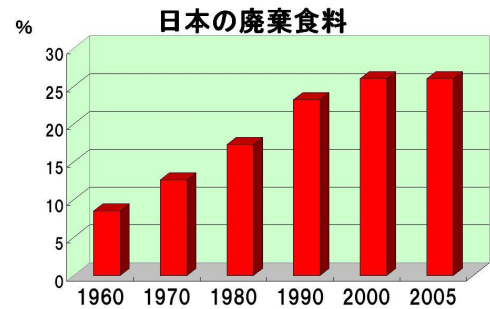


2. 食糧問題（国内編）

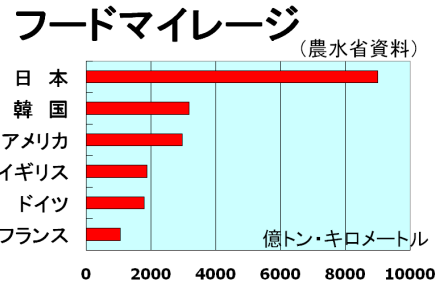
●食料廃棄大国日本

賞味期限切れや残飯などで捨てられる食べ物は年間約2000万ト。食料全体の26%。
約3300万人分の食料、金額にして1兆円に相当。
世界の食料援助の総量の約4倍



●食料輸入大国日本

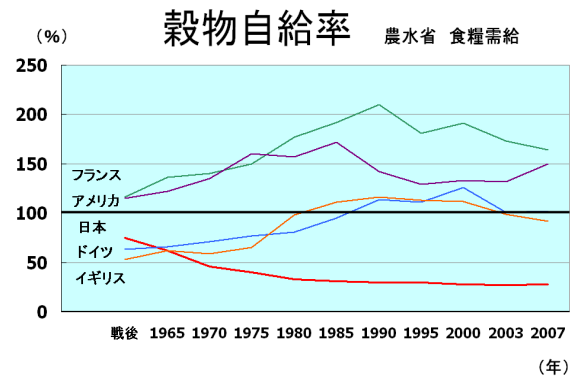
日本の食料の大部分は輸入品
フードマイレージは世界一。韓国、米国の3倍
⇒遠くから農林水産物を輸送するために莫大なエネルギーを使用し、二酸化炭素を大量排出
※（フードマイレージ）
＝（輸入食料の総重量）×（輸送距離）



●日本の自給率は世界最低クラス！

1960年代から高度経済成長にしたがって、食糧の自給率が徐々に低下した。

- ・現在の日本の穀物自給率は、
175ヶ国中 123番目
- ・先進国では、29ヶ国中 25番目



●肉食ということ

日本人は一人年間28kgの肉を消費
(年間364万ト、牛300万頭、豚3300万頭、鶏9億羽)。
⇒食肉のための家畜の飼料は、輸入肉の飼料も含めると1億人以上の穀物を消費。つまり日本は、人口の2倍の穀物を消費していることになる。

●日本人の年間消費量

日本人の摂取カロリー一約3000Kcal/1日
WHOの最低摂取基準(2100Kcal)の4割以上多い
この飽食分で、5000万人が生活できる
一方で、糖尿病、肥満などの生活習慣病が増加！

各国の穀物自給率(%)	
オーストラリア	176
フランス	164
アメリカ	150
インド	105
ドイツ	102
中国	102
イギリス	92
日本	28

農水省食糧需給表平成20年度

●もし日本への食料輸入がストップしたら…

もしも、日本の食糧輸入が止まったら、年間3千万人が餓死・・・
NHKテレビ番組「輸入食糧ゼロの日」（1978年）より

これは30年以上前の予想（シミュレーション）ですが、もしも現在、食糧輸入がストップしたら、餓死者ははるかに増大するでしょう。

農水省は、輸入途絶時を想定し「食糧安全保障マニュアル」を作成。（農地以外の土地の農地化、食料の配給制、農林漁業へのエネルギー（石油）優先供給が必要）
実は日本は、ソマリアやアフガンなどと同様の食料危機の国

【遺伝子組み換え食品はすでに日本へ】

- ・遺伝子組み換え作物は、しだいに増え、輸入されている
（大豆、ジャガイモ、トウモロコシなどに多い）
- ・問題点はたとえば、
 - ① 除草剤をかけても枯れない穀物や野菜 ⇒ 除草剤を大量に使う
 - ② 殺虫毒素を持つ穀物や野菜 ⇒ 人への影響は不明（長期間の研究はない）
遺伝子組み換え食品による人の死亡事故も報告
 - ③ 表示基準があいまい
 - ④ 遺伝子操作したものはF1（一世代しか収穫できない）ものが多い
⇒ 企業や特定の機関に都合のいい種子を流通させることが可能
⇒ 毎年種子を買わないと農作物が作れなくなる可能性も

●日本の今後は？

地球温暖化による異常気象（熱害、干ばつや豪雨）により穀物の生産が減少
⇒ 小麦などの価格が上昇
さらに穀物や農産物の生産が減少すれば（国連IPCC報告）
⇒ 輸入を続けることができない可能性も
現在の輸入依存のままでは、私たちの生活そのものが成り立たない
早急に、食料自給へのパラダイムシフトが必要

●私たちにできること

- ・飽食や肉食、食べ過ぎをやめよう
- ・ダイエットするなら、まず食べる量を減らそう
- ・国産品、無農薬や有機野菜、露地物を選ぼう
- ・輸入品や季節はずれの食品（ハウスの果物、野菜など）は避けよう
- ・家庭菜園を始めよう（ドイツなどでは一般市民に家庭菜園が広がっています）
- ・自給自足をめざそう（脱サラ、脱都会、ふるさとへUターン、農業を始める）